

2022 令和4年

2

第166号



一年のうちで最も寒さが厳しい2月。でも、ふと空を見上げると木の枝先で小さな新芽が揺れています。冷たい風が吹く中、それでも少しずつ日差しが明るくなってきたようで、春が来るのが待ち遠しい毎日ですね。

新型コロナウイルス感染症が更なる猛威を振るう中、様々な感染症も流行する季節です。今月も感染対策を徹底し、皆様が元気に来館されることを心よりお待ちしております。



- ・プレイルームでは、2か月から就学前の親子が遊べます。
- ・子育てで困っていること、悩んでいることがあれば、お気軽にご相談ください。
- ・各事業の開催日は入館を制限する場合がありますので、ご了承ください。
 - ◇施設内では、必ずマスクの着用をお願いします。
 - ◇次の方は利用を控えてください。
 - ・風邪の症状や発熱のある方
 - ・強いだるさや息苦しさがある方
 - ◇利用者名簿に記入いただいた情報は、必要に応じ保健所等の公共交通機関へ提出することがありますので、ご了承ください。

開館日

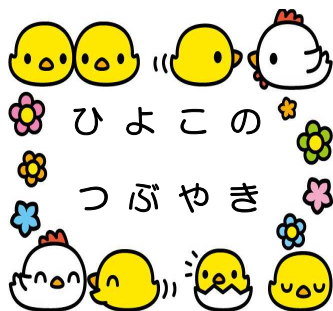
午前8時30分～午後5時

(プレイルーム利用時間 午前9時～午後4時)

休館日

月曜日・祝日・日曜日(第2日曜日は開館)

【発行】 久御山町子育て支援センター「あいあいホール」
TEL 0774 (41) 2263 / FAX 0774 (41) 2283



コロナ禍…集まって交流することが難しい状況下ですが、少しでも子ども達に喜んでもらいたいと活動・交流しています。



民生児童委員の方々から、「節分」豆まき用にと、手作りの升を頂きました。あいあいホールでも配布していますので、来館された際には是非お持ち帰りください。

また、あいあいホールでは、親子で制作をしたり、豆まき遊びを行います。(要予約)皆で一緒に季節の風習に触れ、楽しい時間を過ごしたいと思います。



毎週1回、久御山町立図書館より、絵本の読み聞かせに来ていただいています。親子で一緒に手遊びをしたり、色々な絵本に触れたりする和やかな時間です。親子のお気に入りの1冊が見つかるの良いですね。「今週はどんな絵本を読んでもらえるのかな?」と、楽しみにしていた保護者の方や子ども達が集まり、過ごします。「このお話、それからどうなるの?」「早く次のページがみたい。」と、絵本を見る子どもたちは目を輝かせています。子ども達の反応に思わず保護者の方々も、あいあいスタッフもにっこり。とても、ほほえましいです。

今年度、あいあいホールの花苗植えや、手作りの雑巾の配布などでも、交流していただいている荒見苑女性部の方々が、子ども達のためにと手作りの玩具を作ってくださいました。この玩具は、あいあいホールで配布させていただきました。あいあいホールにも置いてありますので、来館された際には、是非、手にとって遊んでみてくださいね。





節分



「節分」ということばには、季節を分けるという意味があります。つまり、季節の分け目を指すので「立春、立夏、立秋、立冬」と1年に4回あります。

その中でも立春は、旧暦では年の変わり目である大晦日にあたる大事な節目であったこと。また、暖かい春の訪れとして一番人々に待ち望まれていたため最も重要視されるようになりました。そのため、立春だけを節分と呼ぶようになったそうです。

中国では季節の変わり目には邪気（鬼）、魔物が生じると考えられていました。その邪気を追い払うために摩滅（まめ）に通ずる豆で邪気を追い払い、無病息災を祈りました。これが日本の平安時代に宮中行事として取り入れられるようになったのが「豆まき」の始まりです。また日本では穀物には邪気を祓うパワーがあると信じられていたため、日本の文化として取り入れやすかった。とも考えられています。

「恵方巻き」は七福神に、ちなんで七種類の具材で作られ、それを一気に丸かじりすることで商売繁盛の気を一気に頂くという意味が込められているとされています。食べている間に、しゃべってしまうとご利益が逃げてしまうと考えているため、黙って食べるのがルールとされています。



二月（如月・きさらぎ）



ちょこっと豆知識

如月とは・・・

旧暦の2月「如月」は現在では2月下旬から4月上旬頃にあたります。

もともとは「衣更着（きさらぎ）」という漢字で、「寒さが厳しく重ね着をする（衣を更に着る）季節」という意味があったそうです。「如月」という漢字が当てられたのは、中国の2月の異名「如月（にょげつ）」が由来しているそうで、寒い冬が終わり、春に向かって、万物が次第に動き始めるという意味があります。

新暦の2月はまだ寒さが厳しく、梅の花が咲くのはまだ早い・・・と思いますが、旧暦2月ならば梅の花が咲き始め、春がそこまで来ている時期なのです。また、雁が越冬のために訪れる地域では、春になってシベリアへと帰って行く様子を見ることができるでしょう。

「梅月」「雪消月」などの月の別名を見ても、その様子を想像することができますね。

